

豊かな人生とは

使用者委員 濱上剛一郎

昨年の7月から鹿児島県労働委員会の使用者委員を務めさせていただいております。まだまだ不慣れですがよろしくお願ひいたします。とはいっても紛争の当事者や相談にいらっしゃる方からするとベテランも新人も関係ありません。先輩委員のご指導や事務局の皆様のご支援をいただきながら、労働委員会と関わってよかったと思っただけのよう日々努力してまいります。私は現在鹿児島県経営者協会というところに在籍しています。経済団体の一つで日本経団連の地方組織という位置づけです。経営者協会は、主に人材育成や労務管理を扱う団体ですので労働委員会の仕事とも関連が深く相乗効果を発揮できればと思っています。とはいえ私が経営者協会に入職したのは一昨年ですのでこちらも在籍はまだ2年足らずです。その前は、36年間MBC南日本放送という放送局で仕事をしていました。最初は記者やデスクとして主にニュース報道に携わっていました。国内外、あちこち取材に行きましたが、ふつうはなかなか行けない所、なかなか会えない人とお会いできるなどエキサイティングな経験でした。ニュースの対象は森羅万象ですので、とにかく多くの人とお会いすることができました。そして、人としての立ち振る舞いも含めて多くのことを学ばせてもらいました。

報道部門に20年いた後、人事部門に異動になりました。それまでの報道とはまったくの畑違いで最初は面食らいました。また、内勤なので外部の人とあまり会えなくなるのではないかとおっと思っただけでしたが、報道ほどではないにしても、特に労務管理や人材育成、各種人事制度など「人」に関わる仕事をしていらっしゃる多くの皆様とお会いすることができました。人事部門在籍時代は、当時の鹿児島県経営者協会の皆さんと一緒に仕事をする機会があったのも何かの縁かなと思っただけです。人事部門の9年間で採用や労務管理、年金・退職金制度など一通り知識を得ることができたのも、その道の専門家の皆様から学ぶことができたからだと思っただけです。

そのあとは事業局という、イベントの企画・運営をする部署に移りました。MBCは、テレビ、ラジオだけでなく多くのイベントを実施して地域の皆様と感動を共有しようという考えを持っただけです。MBCの主催イベントは老若男女を対象に、音楽、美術、スポーツなど幅広い分野にまたがっただけだったので、こちらの部署でも数多くの、その道の達人ともお会いする機会に恵まれました。イベントというのは、これまた門外漢で特に最初のころは、動員などで胃の痛くなる思いも多々しましたが、多くの人と巡り合えて心豊かな時を過ごすことができました。MBCで30数年間、何とか会社生活を過ごすことができたのは数

多くの皆様の支えがあったからだをつくづく感じています。

そして今、経営者協会です仕事をするようになって、こちらでも経営者の皆様をはじめ、今まであまりお付き合いのなかった方々とお会いする機会が増えました。企業のトップの方々の警咳（けいがい）に接することができ、感じ入ることも多々あります。

「人脈が多い」とか「コネクションがある」とよくいわれます。それはそれで大事です。ただ、それだけではなく、いかに多くの人と出会って、喜怒哀楽を共有できるのか。生涯で何人の人とあいさつをし、言葉を交わせたのか。豊かな人生の物差しはいろいろあるでしょうがいかに多くの人と縁を結び、情を交わすことができるのかが大事だと思うのです。まだまだ人生経験は未熟ですが、去年還暦を迎え、振り返れば多くの皆さんに支えられっぱなしの人生で、今後もそうありたいと願いつつ、感じたことを記してみました。